

今年もお米づくりの季節になりました！

田んぼは**日本の宝**！

天候や自然に左右されながら
貴重な田んぼ体験を楽しんでいます！



おもちの 田んぼの会

Chigasaki City
2023

苗の中の奏でる力エルの合唱
ゆらゆら揺れる青々とした稲
夕日に照らされ輝く稲穂
あたたかく見守ってください



6月

7月

8月

9月

10月

11月

田植え

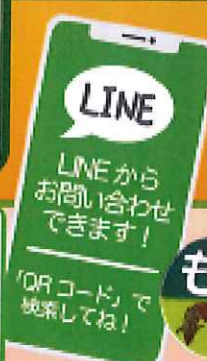
草とり (6月~8月)

かかしコンテスト

稲刈り

もち米の配布

※ 稲の生育・天候により、直近で日程が決定します。



主催：おもちの田んぼの会
協力：円蔵陸会 GENKIプロジェクト
担当：小磯 (090-3427-6290)





おもち田んぼの会

年間の活動

[5月▶10月]



～田植え前までの流れ～

田起こし、代掻き・肥料時き・水路の掃除
あぜ道の補強・もち米の苗購入と育成・
苗の水やり・駐車場の草刈り...



～田植え～

ぬかるんでいて歩きづらい田んぼの中。
転ばないように小股で歩きながら、手で
植える昔ながらの田植えをちょこっと体験。



～田植え後～

田植えの終わった稲は見るたびに背が
伸び、生き生きした美味しいお米をつくる
準備に入ります。



～稲の成長と妨げる草取り～

稲の成長に合わせて雑草も同じように成長
太くて丈夫な稲を育てるには、雑草を取る
ことが重要な仕事!



～田んぼの守護神「かかし」～

会員の方々が、工夫を凝らして制作した
かかしのコンクールを開催。収穫を前に
した田んぼの風景を彩る。



～稲刈り～

黄金色の稲穂が垂れ下がる頃、いよいよ
稲刈。みんなで協力して刈取り、
稲架(はさ)掛けへ。



～昔ながらの「稲架(はさ)掛け」～

束ねた稲を棒に架けて天日(太陽光線)と
自然風によって乾燥。脱穀・粳すり・精米
すればつやつやなもち米の完成!



～稲刈りあとの藁～

稲刈りした藁でしめ縄や祝亀づくり。
かわいいだけではなく、有難い感じが
してきます。

貴重な田んぼの四季がみられな
くなり、なんとか復活させたいと私
達は願いました。田んぼの仕事は
全くの素人の私達の呼びかけに、
若くて素晴らしい家族会員の方々が
大勢集まってくださいました。



全くの素人私達がここまで出来る
とは思っていませんでした。

地域の方々、家族会員の方々の熱心
さと出会えて、たくさんのことを教わ
りました。

農家の方々の知恵と見識に感謝、
ご協力に感謝でいっぱいです。

180キロのもち米が穫りました。
大変だったことよりも、楽しかった
思い出がいっぱいです。

皆さまありがとうございました。
今年もよろしくお願いします。



主催：おもちの田んぼの会
協賛：円蔵睦会
協賛：GENKIプロジェクト
担当：小磯 (090-3427-6290)

